

にいがた

畜産協会たより

公益社団法人

新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL.025-234-6781～6783



関岬放牧場（佐渡市）の放牧の様子

目次

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ◆ 令和6年度の事業計画と予算の概要 …… (2) | ◆ にいがた畜産女子会活動 …… (6)
畜産施設見学&飼養管理研修会を開催 |
| ◆ 今年度の事務局体制 …… (4) | ◆ にいがた和牛「食の陣」とコラボ …… (7) |
| ◆ 昨年度の共進会の結果報告 …… (4) | ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより …… (8)
南魚沼市：株式会社小澤牧場 |
| ◆ 畜産安心ブランド生産農場認定事業 …… (5)
農場認定1件報告 | ◆ ちくさん女子の窓 …… (8) |
| ◆ 畜産技術職（正職員）を募集します！ …… (5) | ◆ 編集後記 …… (8) |

令和6年度の事業計画と予算の概要

令和6年3月22日開催の令和5年度第4回理事会において、令和6年度事業計画及び収支予算が決定されました。

当協会は、今年度当該事業計画に基づき農林水産省及び（独）農畜産業振興機構が実施する事業実施主体の公募に参加し、国、県及び中央団体の指導のもと、会員、関係機関及び関係団体と連携して、経営安定対策、生産性向上対策や家畜衛生対策など公益性の高い事業に取り組み、畜産経営体への諸支援に努めます。また、引き続き事務局体制の健全な運営をめざして諸課題に取り組みます。

○ 事業計画骨子

1 公益目的事業

畜産物の価格変動による損失を補填する事業、畜産業を営む者の経営の指導、家畜の飼養管理及び保健衛生に関する技術指導等を通じて畜産の振興に寄与する事業

(1) 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

肉用子牛生産者補給金制度及び平成30年12月に開始された肉用牛肥育経営安定交付金制度の両法律事業を適切に実施します。

(2) 畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導等を実施する事業

- ア 経営・生産基盤の強化により収益性の高い経営体を育成するため、規模拡大等により経営発展を目指す畜産経営等に対し、関係者が一体となって畜産経営診断指導を実施し、畜産経営の体質強化を図ります。
- イ 経営・生産基盤の強化により収益性の高い経営体を育成するため、中心的経営体指導強化推進事業を中心とした各種の経営改善指導や、「にいがた畜産女子会」の活動支援を実施します。



女子会飼養管理研修会の様子



畜産コンサルの様子

(3) 高能力家畜、器具・器材等の導入及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

- ア 畜産経営基盤を強化するため、「新潟県畜産振興クラスター協議会」の事務局として畜産クラスター事業等を活用した生産性向上に係る機械導入支援や肉用牛生産基盤強化を目的とした肉用牛経営安定対策補完事業を実施します。
- イ 家畜疾病の清浄化や飼養衛生管理の強化に向けた取り組みを支援するため、牛疾病検査円滑化推進対策事業及び家畜生産農場清浄化支援対策事業に関連する衛生対策事業を実施します。
- ウ 家畜伝染病のまん延防止を目的として、畜産農家の初動防疫活動体制の整備推進を行うために、生産者段階での防疫演習を開催するとともに、口蹄疫、豚熱等の悪性伝染病が万が一発生した場合、農場の経営再開を支援するため、生産者が基金を造成して互助補償を行う制度を推進します。
- エ 新潟県内の農場における伝染性疾病（BLV：牛伝染性リンパ腫、PRRS：豚繁殖・呼吸器障害症候群）の清浄化を実現するため、県内農場におけるモニタリング検査の実施と、清浄化取組モデル農場を設定し清浄化に向けた取り組みを支援する事業を実施します。
- オ 新潟県内で産業動物獣医師又は新潟県畜産獣医師（県職員）として就業を希望する獣医学生に対し、修学資金を卒業まで給付する事業を実施します。



防疫演習の様子

(4) 衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業

食の安全・安心を求める消費者ニーズに対応して、HACCPの考え方に基づく衛生管理手法を取り入れた「畜産安心ブランド生産農場」の認定を推進します。



畜産安心ブランド認定マーク

2 その他事業

畜産の振興を支援する事業

(1) 県産和牛のブランド力強化を推進する「にいがた和牛推進協議会」事務局を運営する事業

「にいがた和牛」の流通・販売対策等を積極的に展開し、一層のブランド力強化に向けた取り組みを実施します。



ロゴマーク



イメージキャラクター
「ニーモ」

(2) 畜産物の消費拡大を図る事業

畜産や畜産物に対する消費者の理解増進を図ることを目的として、新潟県産畜産物を使った料理教室の開催やホームページを利用した情報発信をするなど消費拡大のPRに努めます。



「ひなまつり料理教室」

(3) 緊急事態発生時に畜産経営体、団体に助成金を交付する事業

伝染病の発生や災害発生時等に畜産経営体等に対する緊急対策を実施します。

○ 予算の概要

計画事業費

(単位：千円)

区分	事業等名称	計画事業費額	備考
畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業	・肉用子牛生産者補給金制度	43,563	・肉用子牛補給金等 ・牛マルキン交付金等
	・肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン制度)	121,555	
畜産経営体に対する経営及び技術の改善指導等を実施する事業	・地域畜産支援指導等体制強化事業	20,331	・畜産コンサル等 ・地域の共進会等支援 ・事業数4件
	・畜産経営診断に関する事業	4,967	
	・畜産特別資金等推進指導事業	1,346	
	・畜産近代化リース貸付指導事業	295	
	・にいがた畜産女子会事務局運営	770	
	・畜産活性化推進事業	643	
	・畜産物品質向上促進事業	2,833	
・その他指導分析等に関する委託事業	909		
高能力家畜、器具・器材等の導入及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業	・畜産クラスター等推進業務	917	・事業数2件 ・離島対策等 ・地域の疾病対策支援 ・生産者を主体とした防疫演習支援継続 ・新規1名募集 ・新規事業 ・事業数1件
	・その他器具等導入に関する委託事業	764	
	・肉用牛経営安定補完事業	3,035	
	・優良繁殖雌牛更新加速化事業	570	
	・和子牛生産者臨時経営支援事業	2,982	
	・家畜生産農場衛生対策事業	3,203	
	・牛疾病検査円滑化推進対策事業	1,719	
	・家畜防疫・衛生指導対策事業	10,003	
	・馬飼養衛生管理特別対策事業	560	
	・獣医師養成確保修学資金給付事業	9,288	
	・地域養豚生産性衛生向上対策支援事業	2,400	
	・家畜防疫互助基金支援事業推進業務	1,474	
	・野生獣衛生地域対策推進事業	308	
・その他家畜衛生関係事業	40		
衛生管理基準を充足した畜産経営体を認定する事業	・畜産安心ブランド生産農場認定事業	800	
県産和牛のブランド化を推進する「にいがた和牛推進協議会」事務局を運営する事業	・にいがた和牛推進協議会事業	2,295	
畜産物の消費拡大を図る事業	・畜産理解増進事業	396	
	・馬事畜産振興推進事業	520	
緊急事態発生時に畜産経営体、団体に助成金を交付する事業	・新潟県畜産経営安定等緊急対策事業	2	
合計		238,488	

今年度の事務局体制

○ 人員配置

課	職名	氏名	備考
専務理事		瀬 高 寛 治	事務局長兼務
事務局次長		樋 口 良 平	総務課長兼務
総務課	課長	樋 口 良 平	
	課長補佐	鈴 木 奈美子	
	主事	青 木 貴 寛	
	事務補助員	関 朋 子	
業務課	課長	谷 川 昌 行	
	係長	佐 藤 紫 織	
	技師	真 保 春 紀	
	事務補助員	石 田 由 紀子	

○ 各課の所管業務

課	主な担当業務
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庶務及び経理に関する事務 ・ 肉用子牛生産者補給金制度 ・ 肉用牛肥育経営安定交付金制度
業務課	<p>【経営支援関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肉用牛経営安定対策補完事業 ・ 畜産経営診断に関する事業 ・ 畜産クラスター等推進業務 ・ 畜産理解増進事業 ・ 畜産相談窓口の設置 <p>【衛生指導関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜生産農場衛生対策事業 ・ 家畜防疫互助基金支援事業 ・ 牛疾病検査円滑化推進対策事業 ・ 家畜防疫・衛生指導対策事業 ・ 獣医師養成確保修学資金給付事業 ・ 馬飼養衛生管理特別対策事業 ・ 地域養豚生産衛生向上対策支援事業 ・ 野生獣衛生地域対策推進事業 ・ 畜産安心ブランド生産農場認定事業 <p>【その他の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ にいがた和牛推進協議会 ・ にいがた畜産女子会 ・ 新潟県畜産振興クラスター協議会

昨年度の共進会結果報告

当協会では、本県の畜産振興に寄与するため、主に県下一円又は市町村の範囲以上を参加地域とする畜産共進会等において、優れた成績を収めた方に対し賞状及び副賞を交付しています。

昨年度は、令和5年6月から12月までに7ヶ所の共進会で交付いたしました。詳細は下記のとおりです。

行事名	主催者	賞名	受賞者	住所
第46回津南町肉豚枝肉共励会	津南町養豚組合	最優秀賞	中島正人	中魚沼郡津南町
第29回J A佐渡和牛共進会	佐渡農業協同組合	優等賞(未經産)	岡崎 敦	佐渡市
		優等賞(経産)	仲川範行	佐渡市
三 J A 合同肉牛枝肉勉強会	北越後農畜産部会	ベスト枝肉賞	農事組合法人松田牧場	新発田市
第21回十日町農業協同組合養豚部会枝肉共進会	十日町農業協同組合養豚部会	最優秀賞	平野清志	十日町市
		優秀賞	有限会社花田養豚場	十日町市
令和5年度新潟県子牛共進会	全国農業協同組合連合会新潟県本部	最優秀賞	渡辺俊行	阿賀町
第68回新潟県肥育牛求共励会	全国農業協同組合新潟県本部	最優秀賞	小野耕司	胎内市
		優秀賞1席	高橋利明	村上市
		優秀賞2席	関 克史	長岡市
くびき肉牛枝肉研究会	えちご上越農業協同組合肉用牛部会	最優秀賞	荻谷耕治	上越市

(敬称略)

畜産安心ブランド生産農場認定事業

株式会社ナカシヨク荒川肥育農場を認定

公益社団法人新潟県畜産協会では、安全・安心な県産畜産物を供給するため、H A C C P方式の考え方に基づく衛生管理を行っている畜産農場を畜産安心ブランド生産農場として認定しています。

このたび、令和5年度認定委員会が開催され、認定審査の結果、村上市の株式会社ナカシヨク荒川肥育農場がクリーンポーク生産農場として新たに認定されました。

当該農場は株式会社ナカシヨクの養豚部門の繁殖農場として機能を担っていましたが、系列農場内の生産計画の変更に伴い、肥育農場に全面改築され、令和5年から肥育豚の飼養、出荷が開始されました。株式会社ナカシヨクでは荒川肥育農場以外の県内肥育3農場（長峰、下田、上中山）はすでに認定されており、今回の認定により、系列内の県内肥育農場がすべて認定されたことになりました。

現在、畜産安心ブランド生産農場の認定状況は下記のとおりとなり、県内畜産農場の5割以上が認定されています。今後も安全・安心な畜産物の生産に努めていきます。

畜産安心ブランド生産農場認定状況

名 称	県内農場数	認定農場数	認定割合(%)
乳用牛（クリーンミルク）	154	63	41
肉用牛（クリーンビーフ）	91	56	62
豚（クリーンポーク）	92	45	49
採卵鶏（クリーンエッグ）	33	22	67
肉用鶏（クリーンチキン）	19	17	89
合 計	389	203	52

（令和6年3月13日現在）

令和7年度 畜産技術職（正職員）を募集します！



新潟県畜産協会では令和7年度から一緒に働く仲間を募集します。

1 募集職種 畜産技術職

2 募集人数 1名

3 応募資格

- ・令和7年3月に4年制大学・大学院を卒業もしくは修了予定の方
- ・既卒3年以内の方
- ・令和7年4月1日から出勤できる方
- ・理系学部もしくは理系学科を専攻した方
- ・普通自動車運転免許を取得している方（AT限定可）



リクルートサイト



※ 詳細は当協会ホームページのリクルートサイトをご覧ください。
<https://niigata-chikusan.jp/pages/362/>

にいがた畜産女子会 活動

畜産施設見学&飼養管理研修会(基礎) を開催しました!



令和6年3月19日に、新潟県農業総合研究所畜産研究センター（三条市棚鱗）にて、現地見学と家畜の飼養管理研修会（基礎）を午前の部と午後の部の2部構成で開催しました。

午前の部では、畜産研究センターの酪農肉牛科長 宮腰雄一様から、酪農牛舎と肉用牛牛舎を案内していただきました。実際の現場を見ながらの研究紹介や、県内でも珍しい搾乳ロボットを間近で見るなど、興味深い体験をたくさんすることができました。



↑搾乳ロボットの見学
搾乳ロボットに入る牛→



酪農担当の宮腰氏から搾乳ロボットの説明をいただきました。

午後の部では、酪農担当の宮腰様をはじめ、肉用牛担当 関崎幸一様、養豚担当 小見朋子様から、家畜ごとの飼養管理の基礎的な講義をしていただきました。また、質疑応答の時間では、参加者の皆さんが感じる日ごろの疑問などを質問したり、逆に研究員の方から現場での課題について質問したりするなど、活発な意見交換となりました。



肉用牛担当の関崎氏の講義の様子



会員の質問に回答する養豚担当の小見氏（左）

今回の見学&研修会では、県の研究施設ならではの貴重な体験・お話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごせました。畜産研究センターの皆様、本当にありがとうございました!

にいがた 冬 食の陣 当日座 ～ テーマは「にいがた和牛」～

2月10日～12日までの3日間、にいがた食の陣実行委員会主催の「にいがた 冬 食の陣 当日座」が開催されました。今年は当協会が事務局を担う「にいがた和牛推進協議会」・にいがた食の陣実行委員会・Food国際調理製菓専門学校・新潟ふるさと村とのコラボ企画として、「にいがた和牛」をテーマとした商品の発案・販売をしていただきました。

これは、にいがた和牛20周年記念イベントの一環として、にいがた食の陣実行委員会のご担当者様にご理解と多大なご協力をいただいで実現できたコラボ企画です。

古町会場では古町ルフル広場でFood国際調理製菓専門学校の生徒さんが考案した「にいがた和牛ステーキボックス」「にいがた和牛芋煮」「にいがた和牛煮込みハンバーグ」が販売され、開店前から多くのお客様が行列を作るほどの人気ぶりでした。



新潟ふるさと村会場ではコラボメニューとして「にいがた和牛リブローズステーキ重」が黄金食堂でのイートイン提供とともに、番屋亭でテイクアウト販売も行われ、多くのお客様で賑わっていました。



テイクアウトのリブローズステーキ重

消費者の方にお話を伺ったところ、にいがた和牛はやわらかくてジューシーだった、美味しい和牛を手頃な価格で買えてよかったなどの感想を頂戴しました。

今後とも消費者の皆様には美味しい「にいがた和牛」を安定的に提供できるよう生産者をはじめとした関係者が一丸となって、更なるブランド力強化と知名度向上に努めたいと思います。



Food国際調理製菓専門学校のメニュー

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 7

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中の内容: 総集編 若き情熱! 全国和牛能力共進会 特別区/畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る/コントラクターと連携 大分県高田牧場/他

スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

畜産安心ブランド生産農場だより

南魚沼市：株式会社小澤牧場（肉用牛）

小澤 成美

南魚沼市で母牛50頭、肥育100頭超の一貫経営と水稲を10町歩ほどしています。お米の刈り取り後は稲藁の採集を行い、ラッピングして保管しています。畜産から出た堆肥は田んぼに還元し、耕畜連携しながら安心安全で美味しい和牛を生産できるよう心掛けています。

繁殖牛は定期的に全頭白血病検査を受け、白血病フリーを維持しています。一貫経営ならではの質にこだわった血統を用い、自家産の稲藁をたっぷり食べて元気な子牛を産んでもらうよう管理しています。肥育牛は肉の旨味、脂の口溶けが良くなるようにと酒粕やお米も与えています。新しく肥育牛舎も建てコンスタントに出荷できるよう増頭している最中です。

出荷したら屠場まで足を運び、枝の出来を見た後にできるだけ自分で食べるようにしています。この母親にこの種牛だとどんな肉に仕上がってどんな味がするんだろう？と一頭一頭確認するのが楽しみです。結果を活かし次に繋げようとするので繁殖に1年、肥育に2年半、合わせて3年半もかかるので気の長い仕事ですね。

出荷はほとんどが長岡のため、近くの飲食店で使用していただけることも多々あります。南魚沼で産まれ育ったお肉だと紹介すると、意外に思われてびっくりするお客様もいるそうです（笑）

そうやっていろいろな声を聞けることがやり甲斐になっています。将来的には自社ブランドの名前でお肉を売り出したいと思っています。



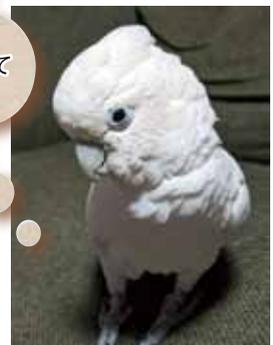
ちくさん女子の窓

にいがた畜産女子会事務局：佐藤 紫織

平成29年9月に発足した「にいがた畜産女子会」は、早いもので6年目を迎えました。女子会の発端は、実はさらにさかのぼり、最初に畜産女子が集まったのは平成27年3月の意見交換会の時でした。そこから数えるともう9年目なのですね。感慨深いような、そんなに年を取ってしまったのか…とってしまうような、微妙な気持ちになります（笑）

さて、そんな女子会ですが、おかげさまで会員数も発足時の18名から34名まで増えました！これも会員の皆様や、会の活動を支えていただいた関係者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます！これからもいろいろな活動を通して、畜産女子の皆さんと楽しく交流・スキルアップをしていけたらと思っていますので、今後とも「にいがた畜産女子会」をぜひよろしくお願いします！

以前(32号)にも載せたうちのオウムです。6年前から姿が変わっておらず、うらやましい限りです。



編集後記

新たな年度がやってきました。

コロナウイルス感染症も落ち着き、昨年度くらいからイベント等も増え、活気のある世の中になってきたと思います。

当協会も積極的に事業に参加し、イベント等も開催することで、皆様のお役に立てるよう、努力して参りますので、今年度もどうぞよろしく願いいたします。

（編集担当：鈴木）

